

主要設備

材料部門 (金属材料、化学材料)

- 分析装置付電子顕微鏡 (SEM-EDX)
- フーリエ変換赤外分光光度計 (FT-IR)
- 精密万能試験機
- レーザ粒度分布測定装置
- 塩水噴霧試験機
- 複合サイクル腐食試験機
- 電子線マイクロアナライザ (EPMA)
- 高温熱処理装置
- 熱分析装置
- 横型酸化炉
- 両面マスクアライナ
- ドライエッチング装置
- 超高温雰囲気炉
- 熱定数測定装置
- メルトインデкса
- 熱変形試験機 (HDT)
- シャルピー衝撃試験機



◆分析装置付電子顕微鏡 (SEM-EDX)



◆フーリエ変換赤外分光光度計 (FT-IR)

機械電子部門

- 機構造解析装置 (CAE)
- 真円度測定機
- 触針式表面粗さ形状測定機
- 万能測長機
- 万能投影機
- レーザ測長機
- 万能測定顕微鏡
- 三次元CGシステム
- 接触式三次元測定機
- 非接触三次元測定機
- FFTアナライザ
- 耐電圧試験機
- 静電気減衰測定システム
- 音響透過損失・吸音率測定システム
- 変動音解析装置
- 静電気シミュレータ
- 急速温度変化試験機
- 低湿度型恒温恒湿槽
- 振動試験機
- 熱衝撃試験機
- 雷サージ許容度試験機
- ガウスメータ
- ネットワークアナライザ
- インピーダンス/ゲインフェーズ・アナライザ



◆非接触三次元測定機



◆急速温度変化試験機

食品環境部門

- 超微粒子磨砕機
- シャープレス連続遠心分離機
- 超臨界抽出装置
- 電気透析装置
- 膜ろ過装置
- 遠心性薄膜真空蒸発装置
- ミニスプレードライアー
- 凍結真空乾燥装置
- 小型レトルト殺菌装置
- 水分活性測定装置
- 色彩色差計
- クリープメータ
- 動的粘弾性測定装置
- ガスクロマトグラフ
- 高速液体クロマトグラフ
- イオンクロマト分析装置
- 全有機炭素計
- 分光光度計
- 燃料電池評価装置
- 微量窒素計
- X線分析顕微鏡
- ICP発光分光分析装置



◆ミニスプレードライアー



◆ICP発光分光分析装置

ユニバーサルデザイン 工芸部門

- 家具強度試験機
- 箱形圧縮試験機
- 恒温槽付き万能試験機
- 恒温恒湿試験室
- 人工環境試験室
- キセノンウェザーメータ
- 超軟X線透過装置
- 室内空気質分析システム (GC-MS)
- 比表面積計測装置
- ホットプレス
- 各種木工機械
- 熱画像計測システム
- 温熱快適性評価システム (PMV)
- 熱流束方式温冷覚閾値計
- 生体信号解析システム
- 赤外線酸素モニタ (NIRS)
- 瞳孔対光反応検査装置
- コンピュータマネキンシステム
- 筋電測定システム
- ユーザビリティ評価システム
- 圧力分布測定装置
- ハイスピードカメラ
- DTPクリエイティヴシステム
- プレゼンテーションシステム
- 3Dプロダクツシステム
- 3Dスキャナ・3Dプロッタ
- 2Dカッティング&プリンタ



◆圧力分布測定装置 (足圧)



◆家具強度試験機

..... <ご案内>

至新東名静岡S.A. (スマートIC) 静岡県工業技術研究所 至新東名新静岡I.C. 千代田上土I.C. 流通センター通り

服織中 大門橋バス停 平和I.C. 安西交番 安西通り 安西街 賤機山トンネル 刑務所

県工業技術研究所バス停 牧ヶ谷I.C. 静岡西高 安倍川 安倍川橋 本通り 弥勒交番 国道1号線 JR静岡駅 至東京

丸子薬科トンネル 至浜松 駿河大橋 至名古屋 至東名静岡I.C.

【交通】

バス ○静岡駅前バスターミナルから
◇牧ヶ谷線96,97番(7番のりば) (県工業技術研究所)下車、徒歩約3分
◇薬科線133,135~140番(3番のりば) (大門橋)下車、徒歩約15分(静清バイパス薬科川橋を渡る)

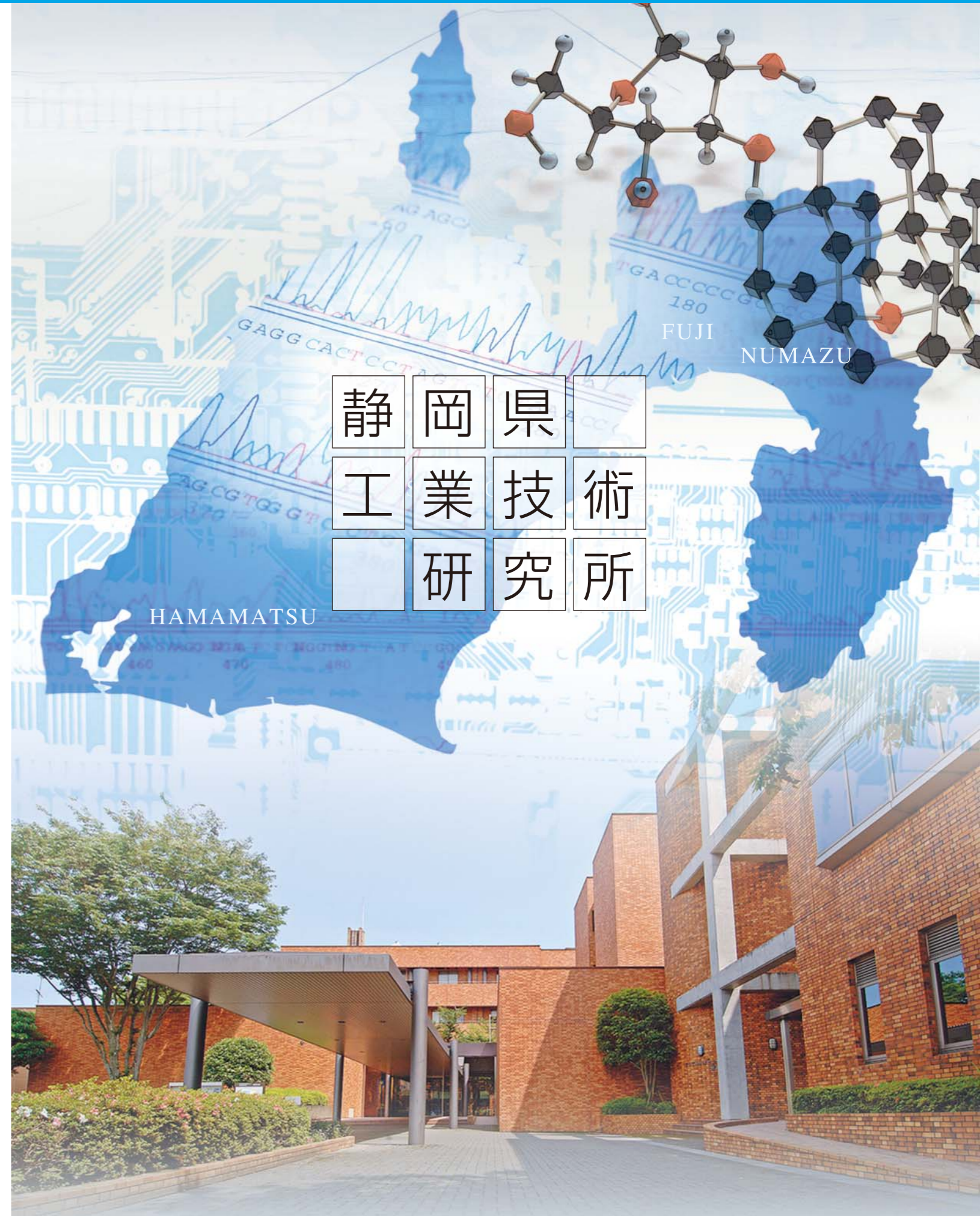
車 ●JR静岡駅から約6km、東名高速道路静岡インターチェンジから約8km、
新東名高速道路新静岡インターチェンジから約11km(静清バイパス千代田上土インターチェンジ経由)、
約9km(静清バイパス平和インターチェンジ経由)、
新東名高速道路(上)静岡サービスエリア(スマートIC)から約6km、(下)静岡サービスエリア(スマートIC)から約8km
静清バイパス牧ヶ谷インターチェンジから約200m

静岡県工業技術研究所

<住所> 〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078
 <電話> 【総合案内】.....054-278-3002
 総務課.....054-278-3023
 企画調整部.....054-278-3028
 金属材料科、化学材料科.....054-278-3025
 機械科、電子科.....054-278-3027
 食品科、環境科.....054-278-3026
 ユニバーサルデザイン科、工芸科...054-278-3024
 <FAX> (各部共通)054-278-3066
 <メールアドレス> shizuoka@iri.pref.shizuoka.jp

<その他の静岡県工業技術研究所>

- 沼津工業技術支援センター
〒410-0022 沼津市大岡3981-1
TEL 055-925-1100 FAX 055-925-1108
- 富士工業技術支援センター
〒417-8550 富士市大淵2590-1
TEL 0545-35-5190 FAX 0545-35-5195
- 浜松工業技術支援センター
〒431-2103 浜松市北区新都田一丁目3-3
TEL 053-428-4152 FAX 053-428-4160



概要

工業技術研究所は、研究所及び支援センターが一体となって、産業界を技術支援できるような体制としました。また、平成25年度からは「ものづくり産業支援窓口」を置き、産業支援機関等と連携して、入り口から出口まで、県内企業のものづくりを支援してまいります。

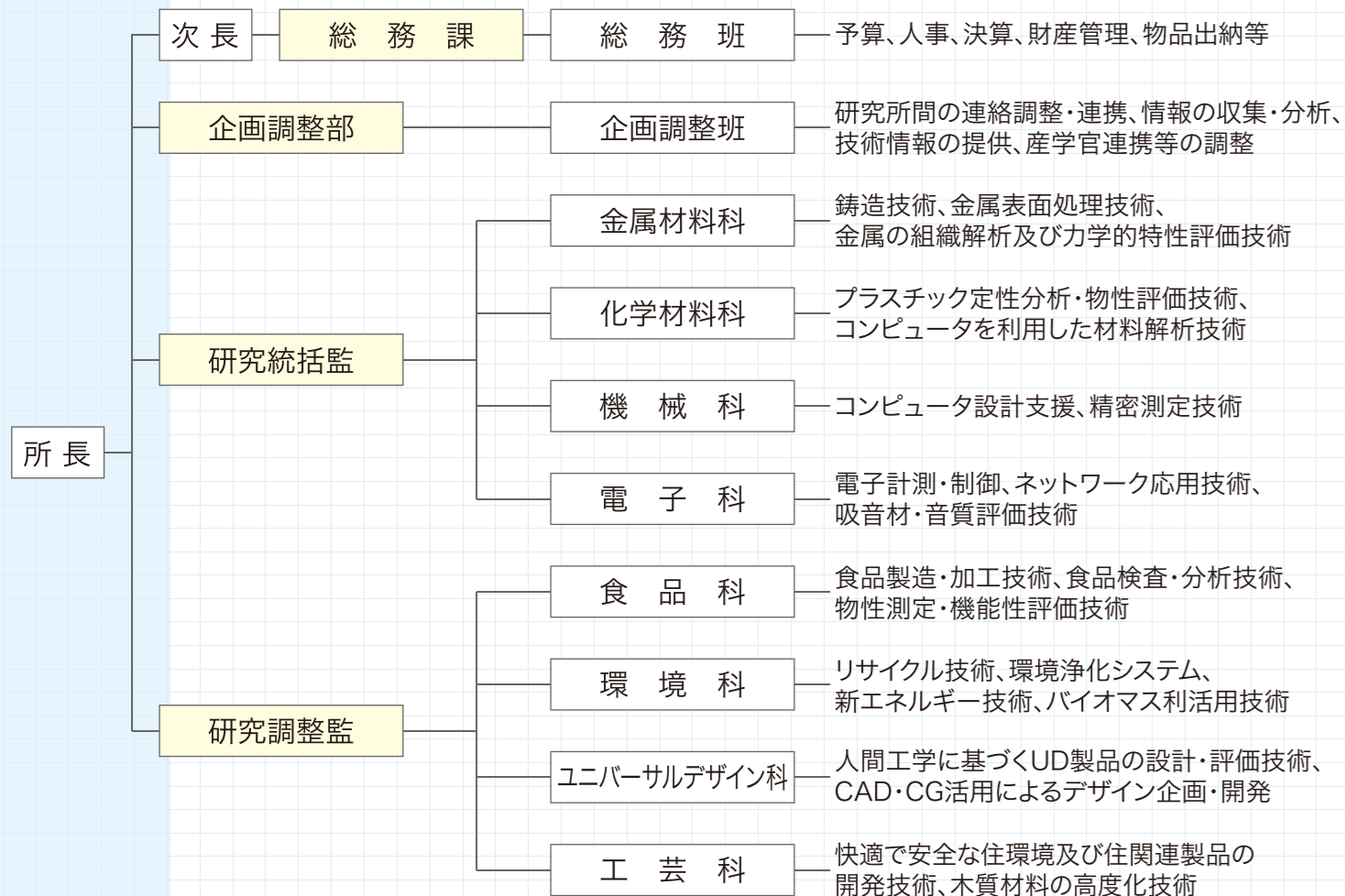
また、県中部地域に集積している食品産業の振興を図るため、機能性食品に関する研究や人材育成に努め、フーズサイエンスヒルズ形成の一翼を担います。材料分野などの共通基盤技術においては、研究体制の一層の充実を図り、研究所全体の中核的役割を果たすとともに、家具・建具業界などの地域産業の支援では、ユニバーサルデザインなど新たな分野を取入れた“安心、安全、快適”な社会を目指す技術支援に力をいれています。

沿革

- 明治39年(1906) 静岡県工業試験場を静岡市追手町に設立
- 大正 2年(1913) 静岡市水落町に移転
- 大正 8年(1919) 安倍郡豊田村(現葵区太田町)に移転
- 大正 9年(1920) 静岡県静岡工業試験場と改称
- 昭和28年(1953) 静岡市安倍川町(現葵区駒形通5)に移転
- 昭和36年(1961) 静岡県工業試験場と改称
- 昭和57年(1982) 静岡市牧ヶ谷に移転
- 昭和59年(1984) 静岡県工業技術センターと改称
- 平成 2年(1990) 静岡県静岡工業技術センターと改称
- 平成 3年(1991) 資料館完成
- 平成 4年(1992) 開放棟完成
- 平成19年(2007) 静岡県工業技術研究所と改組



機構



建物配置



〈施設概要〉

- ◆敷地面積……………23,157㎡
- ◆建築面積……………7,658㎡
- ◆延面積……………13,091㎡

〈内容〉

- ◆管理棟(管理部門)……………2,250㎡
- ◆研究棟(研究部門)……………4,130㎡
- ◆研修棟(各種講習・研究施設)……270㎡
- ◆実験棟(中間規模実験施設)……2,719㎡
- ◆開放棟(開放試験室・共同研究室)1,680㎡
- ◆付属施設(設備棟他)……………2,042㎡

